

# あかつかやま

2017年8月 No.70



タマムシ

## CONTENTS

● 特	集	レッドリストの魚たち	豊川編Ⅱ	.....	浅香智也	2
● 付	録	発見!あかつかやま	.....			4
● 報	告	楽しかった夏休み	.....			5
● イ	ベ	秋のぎょ長の水族館	.....			6

# レッドリストの魚たち 豊川編Ⅱ

機関誌あかつかやま 21号の特集で「レッドリストの魚たち豊川編」として紹介しましたが、レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）は数年で新しい情報を取り入れ改訂されます。現在は、環境省が2017年に作成したものが、愛知県が2015年に作成したものが最新となり、愛知県のものも汽水の魚がリスト化されました。また、前回紹介した時よりも魚種が増えました。

レッドリストの作成手順は、環境省が日本全国を、愛知県は県内にすんでいる、またはすんでいた魚のリストを作ります。そして、普通にいる魚と、あきらかな外来魚をのぞき、残った魚をレッドリストに入れ、絶滅危惧ⅠA類などの8つカテゴリーに分けられます。これらの説明は、機関誌「あかつかやま 21号」をご覧ください。

豊川水系の魚では、絶滅危惧ⅠA類、絶滅危惧ⅠB類、絶滅危惧Ⅱ類、準絶滅危惧、情報不足の魚がいます。

環境省と愛知県のレッドリストを豊川水系の魚に当てはめてみると、表1のとおり33種がレッドリストに入りました。特に注目したいドロクイ、ヤリタナゴ、カワヒガイ、ドジョウ、ドンコ、ニシシマドジョウの6種を解説します。

ドロクイは、環境省のレッドリストに入っていますが、愛知県のレッドリストに入らなかった魚です。この魚は汽水・内湾性の魚で、愛知県では1998年に豊川の河口で1匹が確認されました。このため、迷い込んだ可能性が高いということから、愛知県のレッドリストから除外されました。

ヤリタナゴは、緩やかな流れで底が砂泥や砂礫の場所を好む魚です。昔は、平野部の川、用水、池など、どこにでもいた魚の代表ともいわれ、タナゴといえば、この魚のことでした。この魚は淡水二枚貝に産卵するため、淡水二枚貝の減少、また生態のよく似ている外来種タイリクバラタナゴの侵入により生活場所や産卵場所の競合、オオクチバスなどの肉食性外来種による捕食で減少したと考えられています。

カワヒガイは、緩やかな流れで底が砂礫の場所を好む魚です。昔から、豊川水系の川では珍しい魚であったようです。この魚も淡水二枚貝に産卵するため、淡水二枚貝の減少、また生態のよく似ている外来種ビワヒガイの侵入により生活場所や産卵場所の競合で減少していると考えられています。

ドジョウは、緩やかな流れで底が泥の場所を好む魚です。平野部の川、用水、池、田んぼなど、どこにでもいた魚です。しかし、水路のコンクリート化や田んぼの仕組みや農作業の仕方が変わり減少していると考えられます。また、他地域のドジョウの放流なども問題になっています。

ドンコは、緩やかな流れで底が砂礫の場所を好む魚です。昔は、川の中流に多くすんでいたようです。この魚は、産卵場所や隠れ場所になる魚の体が入る積み重なった石のすきまを必要としますが、産卵に必要な石が埋まったことや無くなったことで産卵ができず減少したと考えら

れています。

ニシシマドジョウは、緩やかな流れで底が砂や砂礫の場所を好む魚です。川の上流から中流にすんでいます。2012年まではシマドジョウと呼ばれていました。川の直線化やコンクリート護岸による緩やかな流れの減少、または川底の砂礫の減少、細流などの産卵場所の消失で、分布域の縮小が進んでいると考えられています。

表1. 豊川水系におけるレッドリストの魚種

	環境省(2017)	愛知県(2015)
ニホンウナギ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧ⅠB類
ドロクイ	絶滅危惧ⅠB類	
シロヒレタビラ	絶滅危惧ⅠB類	情報不足
カワバタモロコ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧ⅠB類
トウカイコガタスジシマドジョウ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧ⅠB類
ホトケドジョウ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧ⅠB類
トウカイナガレホトケドジョウ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧ⅠB類
ネコギギ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧ⅠA類
ウツセミカジカ(カジカ小卵型)	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類
キセルハゼ	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧ⅠA類
スナヤツメ南方種	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧ⅠB類
ゼゼラ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
アカザ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
ミナミメダカ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
カマキリ(アユカケ)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧ⅠB類
エドハゼ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
マサゴハゼ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
ヤリタナゴ	準絶滅危惧	絶滅危惧ⅠA類
アブラボテ	準絶滅危惧	情報不足
カワヒガイ	準絶滅危惧	絶滅危惧ⅠA類
サツキマス(アマゴ)	準絶滅危惧	情報不足
クルマサヨリ	準絶滅危惧	情報不足
カジカ(カジカ大卵型)	準絶滅危惧	絶滅危惧ⅠB類
トビハゼ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類
ヒモハゼ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類
ドジョウ	情報不足	絶滅危惧Ⅱ類
ドンコ		絶滅危惧ⅠB類
ニシシマドジョウ		絶滅危惧Ⅱ類
シラウオ		絶滅危惧Ⅱ類
ボウズハゼ		絶滅危惧Ⅱ類
イトモロコ		準絶滅危惧
カワアナゴ		準絶滅危惧
オオヨシノボリ		準絶滅危惧

自然が多いと言われている豊川水系ですが、魚を含めたいろいろな生き物の減少が目立ってきています。今、普通にいる生き物であっても、そのうち珍しくなってレッドリストに加わってしまう生き物がいるかもしれません。今残っている生き物や自然を大切にしましょう。

飼育員 浅香 智也

## 発見! あかつかやま

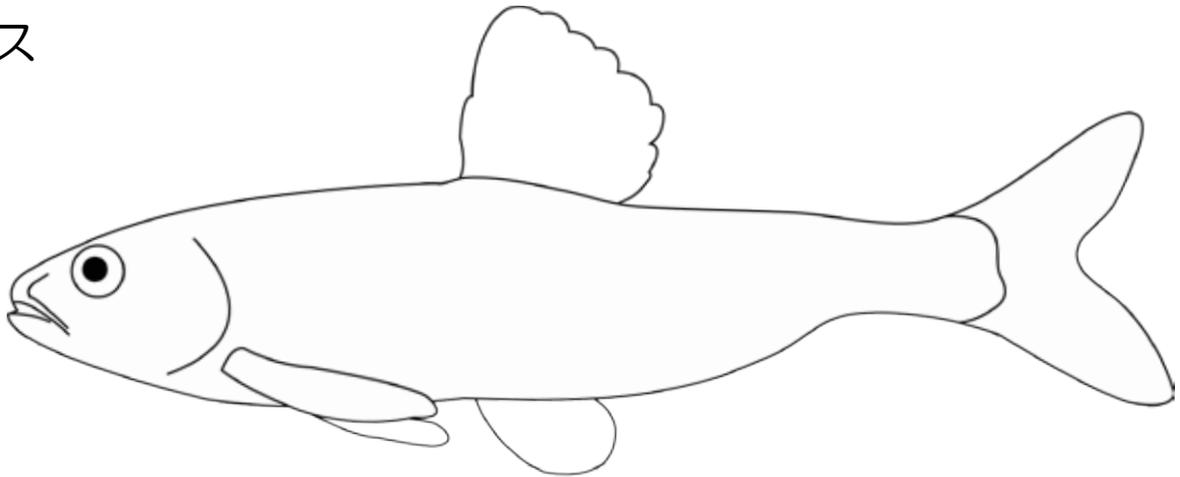


## ぎょぎょランド編 ~オスメスのちがい~

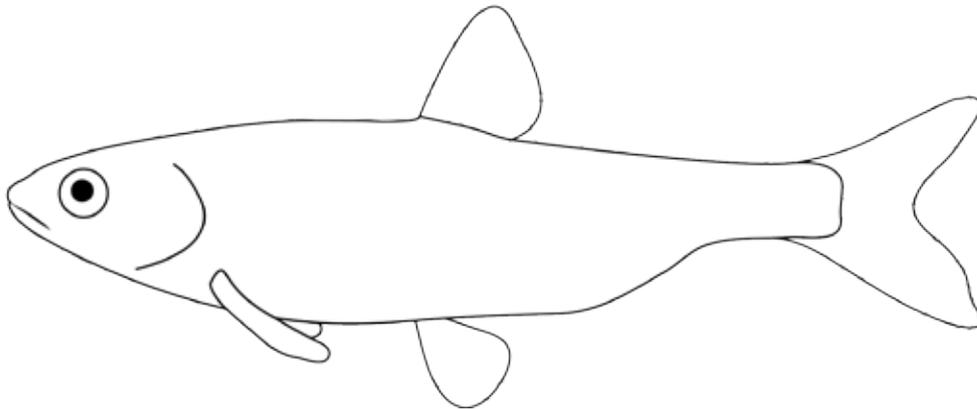
オイカワをスケッチしましたが なにかがたりません。

オイカワをかんさつして たりないぶぶんをかきいれてみよう。

オス



メス



ステップ

いろえんぴつなどがあれば いろをぬってみよう!

オイカワは はるからなつに いろあざやかになるよ。

# 2017 楽しかった夏休み

今年も夏休み限定のイベント「カブトムシのふれあい」「バックヤード見学」「サマースクール」を行いました。カブトムシのふれあいでは、今年からタマムシやカミキリムシ、コオイムシ、クロゲンゴロウなどの、昆虫の展示も行いました。



## 赤塚山公園 ナイトツアー



夜の赤塚山公園を講師の天野先生と一緒に散策しました。カブトムシやクワガタムシの他に、集光灯に集まるカゲロウやウンカ、さらにセミのう化も観察することができました。



## 子ども環境体験ツアー

川に入って、生き物調査をしました。スナヤツメやアカザなど、今では数が少なくなった貴重な魚も観察することができました。捕れた生き物は、ワークシートにまとめました。



# 秋のぎよ長の水族館

とき：9月16日(土)・17日(日)・18日(月・祝)

午後5時から8時まで

ぎよぎよランド内を午後5時に消灯し、懐中電灯を使ってぎよぎよランドを探検しながらクイズラリーを行います。クイズラリーの受付時間は午後5時30分から午後7時30分まで。クイズラリーに参加された方はおもちゃの金魚すくいができます。また、事前に募集した光る魚のぬりえを展示します。



## ワクワク工房「光る魚のぬりえ」

とき：9月1日(金)・2日(土)・3日(日)・7日(木)

8日(金)・9日(土)・10日(日)

午前9時から午後4時まで

ぎよぎよランド2階創造の部屋



### 行事・イベントの報告

平成29(2017)年6月～7月

5/27・28 6/3・4 「ぬりえ」	1079人	7/7	豊川市立八南小学校4年生魚とり	124人
6/6～8 豊川市立御津中学校 職場体験	1人	7/8	ポニーのおたんじょうび会	122人
6/10 梅収穫体験 子どもの部	42人	7/21	夜の自然観察会(環境課)	
6/11 梅収穫体験 子どもの部	54人		赤塚山公園ナイトツアー	29人
6/12 梅収穫体験 大人の部	28人	7/21	豊川市教員初任者研修	8人
6/12 採捕 (カワムツなど)		7/24	豊川市教員初任者研修	7人
6/14 梅収穫体験 大人の部	19人	7/26	愛知県立豊橋南高等学校2年生	
6/15 梅収穫体験 大人の部	17人		ジョブシャドウイング	2人
6/16 梅収穫体験 大人の部	10人	7/26	豊川市立音羽中学校1年生	
6/19 長岡市商工会議所来園			職場インタビュー	4人
6/19 豊川市立八南小学校4年生魚とり	124人	7/27	サマースクール	9人
6/23 豊川市立平尾小学校3年生魚とり	46人	7/28	子ども環境体験ツアー(環境課)	
6/26 豊川市立平尾小学校3年生魚とり	46人		音羽川水生生物調査団	25人
7/1～7 七夕飾り		7/28	ぎよぎよランドバックヤード見学	21人
7/3 豊川市立八南小学校2年生魚とり	120人	7/31	豊川市教員初任者研修	7人

### 動物取扱業に関する表示

氏名又は名称：豊川市長 山脇 実 登録番号：動東第119号  
 事業所の名称：豊川市赤塚山公園 登録年月日：平成18年9月28日  
 事業所の所在地：愛知県豊川市市田町東堤上1-30  
 有効期間の末日：平成33年9月27日  
 動物取扱業の種別：展示  
 動物取扱責任者：前田 民男

### 編集・発行

あかつかやま No. 70 2017/8/15

豊川市赤塚山公園

〒442-0862 豊川市市田町東堤上1-30

TEL(0533)89-8891 FAX(0533)89-8892

次号は10月15日発行です。